



you
and
me VOL.2

you
and
me VOL.1



you
and
me
VOL. 1

転載/コピー/再配布/オークション・フリマ系アプリでの売買を禁止しています

I wholly forbid the reproduction and manufacturing of my work without permission

ヴィク勇両片思いすれ違 + 記憶喪失モノです

■上下巻でこの本は上巻です

■記憶を失っても何度でも勇利に惚れちゃう

ヴィクトルです！ハビエンです！！！！！！

■基本的にずっと勇利ラブなヴィクトルです

■勇利も基本的にヴィクトルが大好きです

■モブ女少し出ますが2人の恋のスパイス役でヴィク勇揺らぎません

■ヴィクトルが事故にあいますが記憶とばす以外は大事ありません

僕はまた間違えた

ヴィクトルとの間にあるものを
壊したくなくて、

今のままで
いられたらだなんて

勇利

恋人になって



え？

何で？

また間違ってしまったのだ



春、僕はヴィクトルの住む
サンクトペテルブルグへ
ホームリンクを移した

忙しいヴィクトルの
負担にならないよう
せめて部屋だけでも
自分で探そうと思って
いたのだが...

俺
コーチ
だよ
ねえ？

イエス・マイ
コーチ

長谷津では俺は
ゆるとぴあ
のお世話に
なった
だろう？

今度は勇利がサンクトに
来たなら俺が勇利の事を
みるのは当たり前だし、
一緒に住んだほうが何かと
都合がいいよね？

また俺にだま、一人で
決めようとしたネ???

ズワッ

—と、ゴリ押しされて
今はあのヴィクトル・
ニキフォロフと一緒に
暮らしている

ずっと一緒だった僕ら
だけど、2人だけで
過ごす日常はさすが
ヴィクトルというか
その：とても刺激的だ

僕とヴィクトルの2人だけで
滑っていたアイスキャッスル
とは違って

チムピオンでは沢山
の優秀な選手たちと
毎日一緒に練習している

ハイレベルな選手達と
同じリンクに立てる事は
とても勉強になるし—

IN SIDE
EAGLE!!

何よりも・

あのヴィクトル・ニキフオロフと
同じリンクで練習できるなんて!!

はわわわわ
~~~~~  
♡

カツキつてば本当に  
ヴィクトルが大好き  
なのね  
日本にいたときも  
毎日みてたんでしょ?

ミミミミ!!

ニヤ

ニヤ









はあ〜っ！  
ちよっぴりだけ  
はあ〜っ！  
ちよっぴりだけ  
美味しかった〜！！

「はあ〜っ！  
ちよっぴりだけ〜」

カラッ



七つやい  
み茶ん  
サイズ



ふふ、今はまだ  
シーズン中だけど  
最近よく頑張った  
たからね。特別だよ

試合に勝ったら  
また食べさせて  
あげる

：僕、毎日が楽しいよ  
ヴィクトルのおかげだよ  
ありがとう

勇利…？

僕の事は大丈夫だから、  
ヴィクトルはもっと  
自分の時間とか  
休みをとった方が：

こうして一緒に住まわ  
せてくれるだけで  
充分だし、最近僕も  
こっちに慣れてきたから

僕がこっちにきてから  
一ヶ月以上経つけど  
ヴィクトル、僕に  
かまいつきりでしょ？

勇利っ

え？怒らせた…？  
なんで…


俺と付き合って

…え？  
なんて…？

勇利を愛してる  
ってことだよ

勇利はいつも俺たちは  
恋人じゃないって皆に言っ  
ていたけれど、俺はずっと  
勇利が好きだった

ん？



勇利

俺の恋人になって？  
勇利と愛し合って  
セックスしたい

そういう意味で  
勇利を愛してる



何で？

？

えっ・・・？



それが俺の愛だからね

・・・そう

分からないなら教えてあげる

お

い

い

い

どうやら僕は  
答えを間違えて  
しまったようです…

それから所構わず  
僕に猛アタックして  
くるようになった  
ヴィクトルは、

僕の都合などおかまいなしで  
外でも僕を口説きはじめる  
ものだからいつもハラハラした

本当に手加減なしのヴィクトル  
だったけれど直接強引な事を  
して来る事は無かった

お手をゆるらかに  
お願いします…

安心してよ  
俺は勇利の事を尊重  
しているからね  
無理に触ったり  
キスしたりしないよ



：早く勇利に触れる  
事を許されたいなあ

……今までだって  
してたじゃん

恋人のキスは、  
許されてない……

それとこれは違うの！



ゆうり？

ひょわっ!?

ひゃー！  
思い出してしまった！  
あのヴィクトルの色気  
やばかっ！

ひょわっ！  
ひょわっ！  
ひょわっ！

ヴィ、  
ヴィクトル：



ま〜  
お熱いユズ〜！

!!!!!!



何一人で真っ赤になって  
たの？俺のいないとこで  
あんまり可愛い顔  
しちゃダメだよ？

うっ：いつもの  
ボディタッチも  
意識しちゃうっ



だってあのヴィクトル  
ニキフオロフだよ？  
ずっと僕の神様  
だったんだ

今までで唯一  
引き止めたと思うた  
一番大切な人だよ

流石にこれは  
ヴィクトルに同情  
するわ〜

えっ



ねえ、日本人って  
みんなそうなの？

それとも貴方が  
ニブすぎるだけ？





僕とヴィクトルの絆、

つなぐもの、

僕達の愛の、証



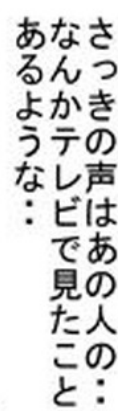
今まで通りじゃ  
ダメなのかな：



ヴィクトルの声？  
今日はまだ練習があるはずじゃ：

よく分らないや：

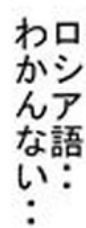




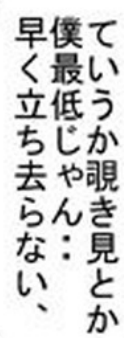
さっきの声はあの人の：  
なんかテレビで見たこと  
あるような：



ヴィクトル：！？



ロシア語：  
わかんない：



ていうか覗き見とか  
僕最低じゃん：  
早く立ち去らない、

と



ガイクトルは世界一の  
モテ男なんだぞ。

あんなの…きつと  
日常茶飯事。



勇利、ボルシチ  
上手に作れるように  
なったね！  
フコースナだよ！

Вкусно!!  
(フコースナ!!)

ヴイクトルに  
おかけたよ  
の教おレシビ

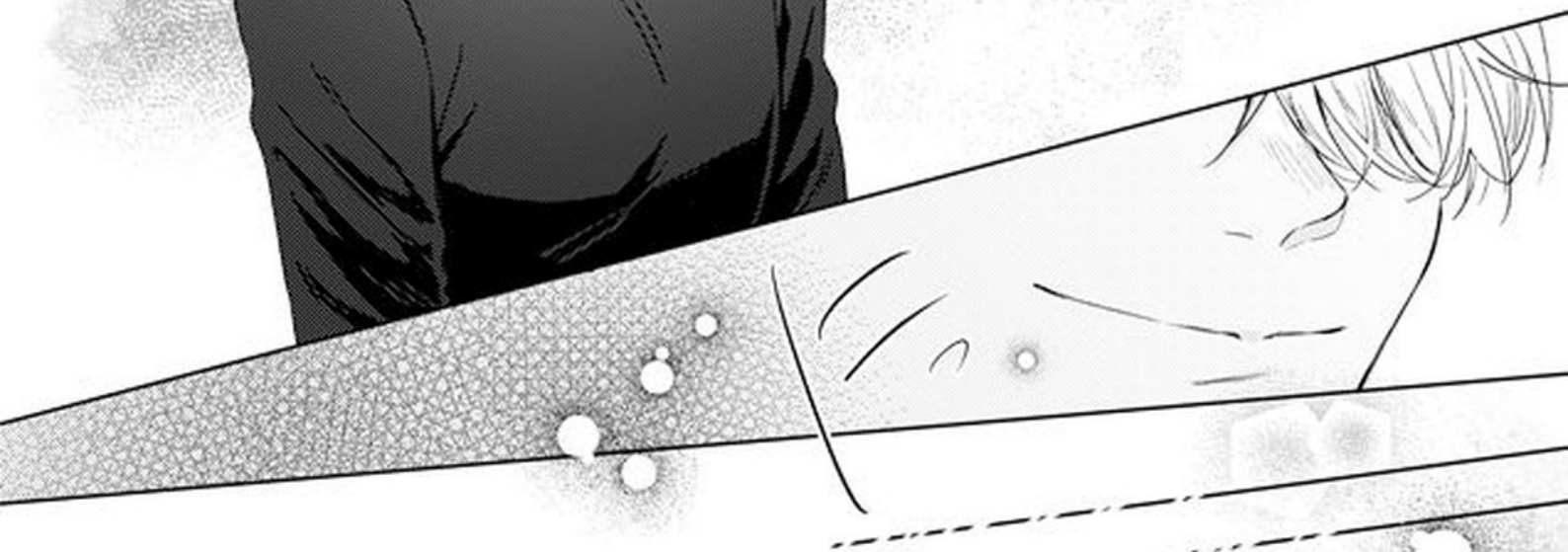
勇利の作った  
ボルシチを

一生勇利と  
一緒に食べたいなあ

頭から、  
タ方のことが  
離れない！




なんか：  
プロポーズ  
みたいだね



プロポーズだよ？





えっ…



あ…

頭の中で、夕方の  
光景がずっと  
リフレインしてる

あのさ…  
どうして僕なの

こんなこと

言いたいわけじゃなくて

なのに

ヴィクトルは  
モテるじゃん

口からスルスルとぬけていく

夕方の…女の人とか…

見てたの…？

…ごめん

彼女とは  
何でもないよ

この前の撮影で共演したただけ  
だったんだけど、急にリンクに  
やってきてね、告白されたけど  
彼女にはちゃんと俺が愛してるのは  
勇利だけって断った。

俺が唯一愛を捧げているのは勇利だけだよ

勇利だけが俺に「Love&Life」を与えることができるんだ

っっっほく!!

お風呂入ってくる!!

ほかーん



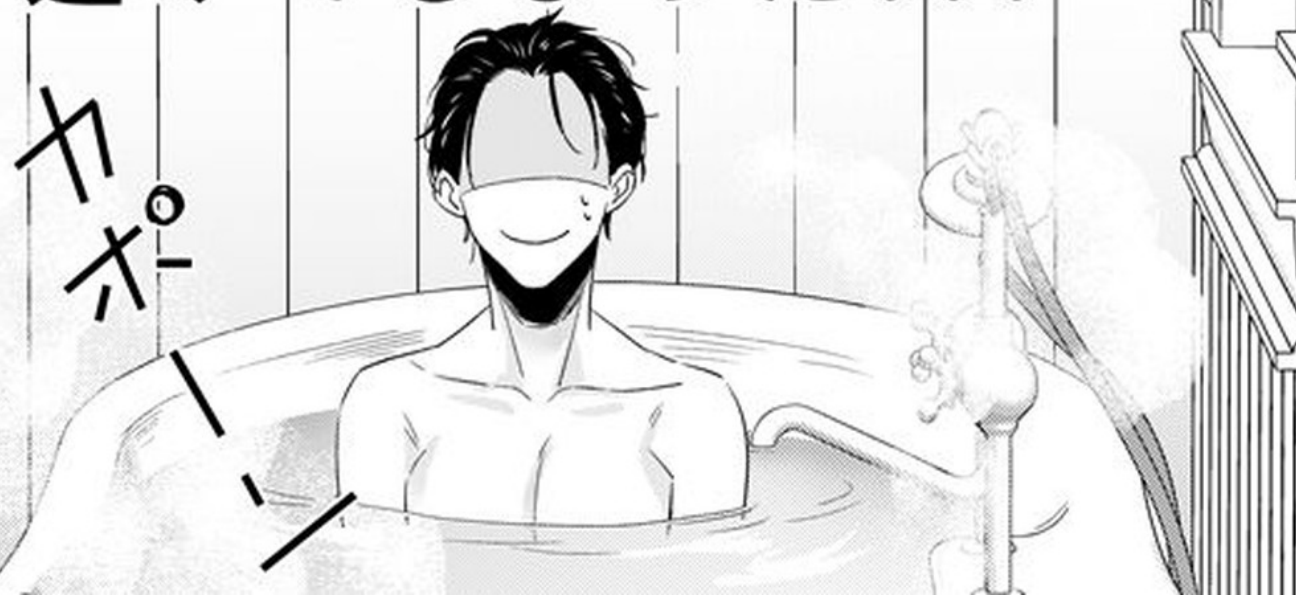


逃げられちゃった...

カタカタカタ...



**逃げてしまった!!!**







ヴィクトル  
もう寝たかな



あれ？部屋の  
灯りがついてる



ほか

ふー…

ヴィクトルを  
取られたくなかった…

ほか



ヴィクトル…？

なんか…声が…

おか…



わ~~~~!!!!!!!

ほ  
僕の名前  
言ってた!!

あんな色っぽい  
声で僕の名前を  
呼んで：あんな……!!

ヴイクトル  
いやらしかー!!

Aaa

~~~~~



クソッ

勇利っ…？
しまった…？
見られた…？



勇利は俺のLoveとLife
呼吸するための空気と
同じで、

当たり前のように
傍にあって、でもなくなって
しまったら息ができなく
なって死んでしまう
俺の大切な存在

勇利…



—でも…

勇利に見られてると
思うと、興奮する…

勇利の傍はあったかい

心地よくて、
それでいて刺激的で

スリルがいっぱいで

愛であふれている

俺は恋人同士だと思っ
ていたけど、なんと勇利は違
っていたらしいそれは勇利がサ
ンクトへ来てからのある日の事
だった

勇利と過ごした8ヶ月間は
俺にとってかけがえのない
宝物で、勇利は俺に「Love」
の言葉を与えてくれた

そんな勇利を愛おしく
思わないわけがない
俺の中には勇利だけに
対する特別な愛が溢れいて

えっ？だから
違うってば！

勇利……？



ただ、恋人がいなかった
せいかな勇利には俺に
恋している自覚が
ないのだろう！

急ぐことはない
ゆっくり俺の愛を
勇利に教えていつて
あげればいい！
そう思っていた！

が

十二テコック!!

勇利：
モテすぎ
じゃない!?

そんな悠長な事も
言っていないら
なくなつた!!

勇利はモテた：
そりやあもう
モテた：しかも
男女関係なくだ：

そりやあそうだ。あの華麗な
ステップと表現力、俺が磨き
上げ、勇利の本来の美しさを
引き出し氷の上では魔性にも
王子様にもなる。なのに
氷を降りれば、ふとはにかん
だ笑顔がとてかわい：
惚れないハズがないのだ！

そのくせ本人には
その自覚が全くない

過激派

だって勇利は俺の
唯一のLoveyLifeだ!!
誰にも渡すものか!!



隙きあらば勇利に
近づこうとするやつを
どれだけ牽制しても
牽制しても牽制しても
後をたたない:

ユリオやミラ、
ヤコフにまで
呆れたような
顔をされたが
関係ない

ヴィクトルはもっと
自分の時間を
持ったほうが:



え?この子豚ちゃんは
何をいってる??

アレ?勇利俺のこと
好きだよわ?

何で俺を遠ざけようと
するの?

もうやーめた!!
そもそも俺の
しよにあわ
ない
我慢
よくない
勇利、俺と
付き合って

それから勇利に自覚
してもらおうと
猛アタックしたけれど

どうにも目をそむけた
がっつるといふか
なんだか引つかかる
ような……

ヴィーチャ！

君は……

俺が愛しているのは、
勝生勇利ただひとりだけだ

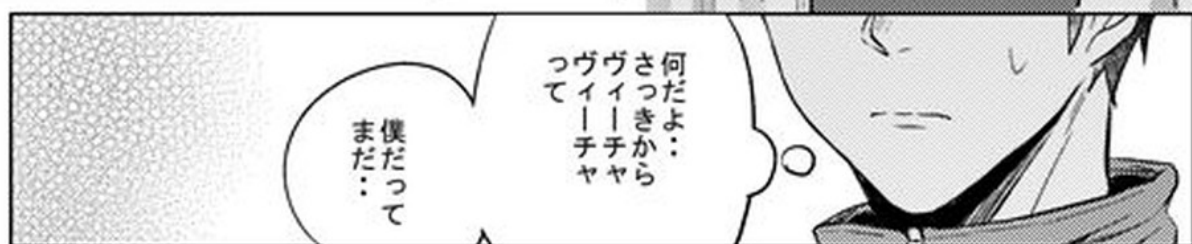
なっ……！ 知ってるわよ
日本のボウヤに振られ
続けてるんですって？

ねえ、ヴィーチャ！
私を恋人にして？

よしてくれ、君とは一度
撮影で共演しただけだろう？
それと愛称で呼ぶのも遠慮
してくれないかい？

私なら貴方愛して
あげれるわ





ヴィクトルの愛を
知っているのは
僕だけだし、

貴女は僕達の
何を知っている
というんですか？

僕達の愛を
見くびらないで
下さい

アンタっ
何様の：

そうだ

彼を満足させれる
のも僕だけです

ヴィクトルを満足させる
事ができるのは僕だけ

ヴィクトルに僕以外
見ないでほしい

僕は：

そうか、僕
ヴィクトルのこと……

誰にも譲りたくない程
愛してるんだ

僕はヴィクトルの
恋人です

そっ、それじゃあ
僕もう行きますからっ!!

んんん

あ
ちゅ
っ!!



どろろろろ

どろろろろ

どろろろろ

一気に心臓が鳴り叫んで
うるさくて仕方がない

僕：ずっと
ヴィクトルの事が
好きだったんだ：

自覚したら
知らない頃には
戻れない

僕は今のヴィクトルとの
関係を壊したくなかった

僕は不安だったのだ
今から一歩進んで、
僕達の関係に新しい
名前がつくのを、
変わっていくのを、

そのせいでヴィクトルを
失ってしまうのではないかと
不安になって自分でも
無自覚で心に蓋をしていたんだ

こんなの、蓋できる
わけがなかったんだ

だって僕はヴィクトルの事が
今までもこれからも
大好きで誰にも渡せる
はずがないんだから……

どうしよう……
ヴィクトルに正直に
僕の気持ちを伝える……
べきなのかな……？

ゆーりいー!!

ヴィクトルツ!?

ど、どうしよう……!!!
まだ自覚したばかりで
顔をまともにつ……

ひどいよー
先に行っちゃう
なんて!

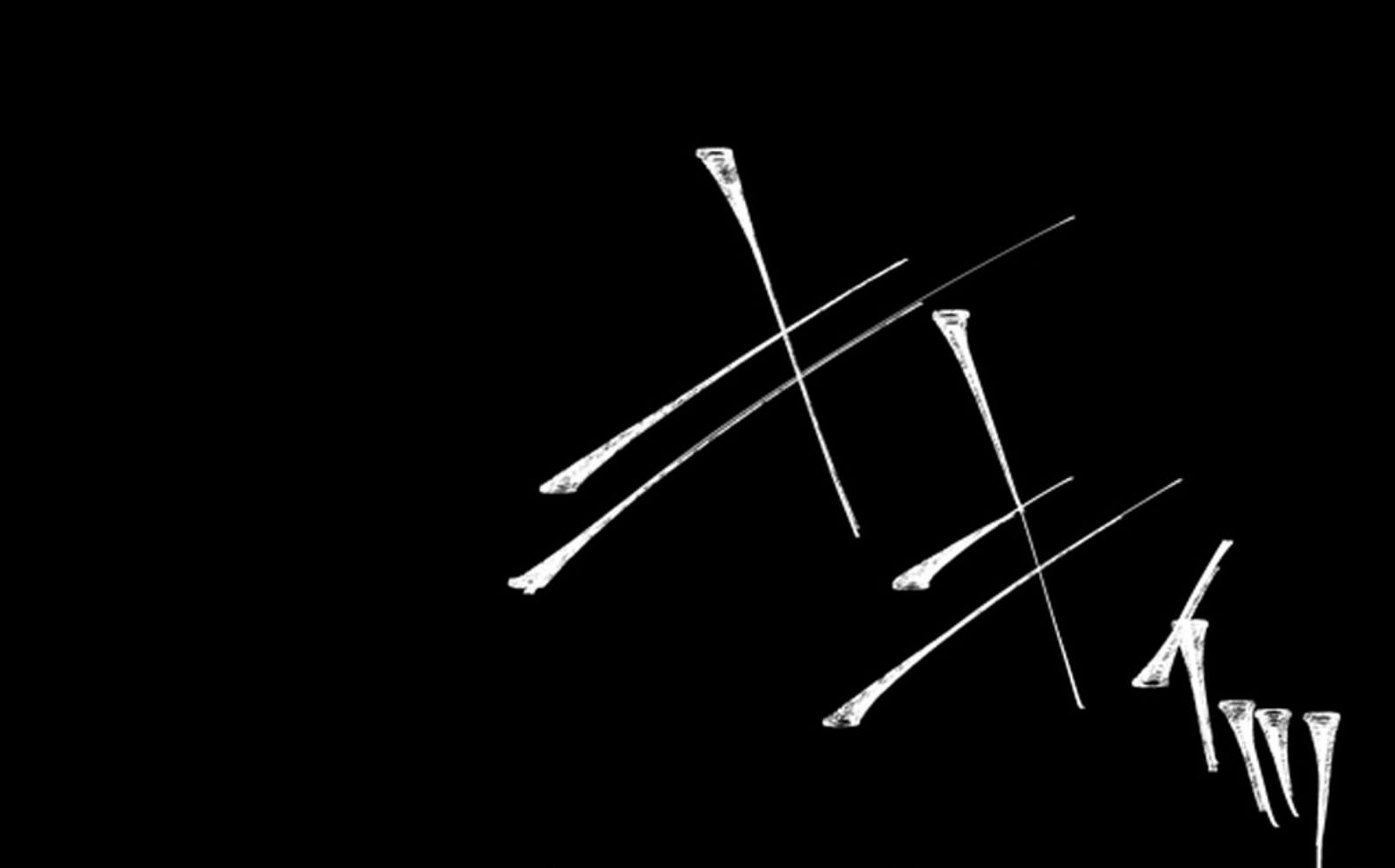


あわわわわ眩し
すぎっ!!なんか
いつもより輝いて
見えるんだけどー!?

めぞくちか
ガセ
しつて
る!?

勇利っ!
危ないっ!!

えっ?



暴走した車が僕たちに
突っ込んできたらしい

僕をかばって車に
はねられたヴィクトルは
すぐに病院へ搬送された

ヴィクトルっ

幸運にもヴィクトルは打ち身と
擦り傷程度で、足にも影響は
なかったが頭を強く打っていた

検査では脳の損傷はみられず、
あとは意識が戻るのを願う
ばかりだった

ヴィクトルはいつも
あんなにも僕へ気持ち
伝えてくれていたのに

僕、ヴィクトルに伝えたい事があるんだ・ねえ・起きて・

それなのに僕は自分のことばかりで、向き合えなくて、こんなにも後悔でいっぱい

離れずに傍にいてよ
ヴィクトルっ……

僕、貴方のことを愛してるんだ・





ああっ!
ヴィクトル!!

ああ! 神様!!



君は・だれ？



R18
MULTIMEDIA





君はだれ？



ブタのくせに
俺より先に
滑ってんじゃねー!!



…ユリオ



2週間前、僕とヴィクトルは
暴走車の事故に巻き込まれた



……
ジジイは
どうしたんだよ

僕早く目が覚めちゃって
なんかすごく滑りたく
なっちゃたんだ



大丈夫、ちゃんと
書き置き置いてきたよ

……あっそ



今の僕たちは
周りの目にはどう
映っているのだろうか

あの事故の時、ヴィクトルは
僕をかばい車と接触して
病院へ運ばれた
次に彼が目覚めたとき
彼からは記憶が無くなっていた

ヴィクトルが記憶を失って
いる事はごく親しい関係者、
ヤコフチームと一部の
スタッフしか知らない

そして今もまだ
ヴィクトルの記憶は
戻っていない

ユウリ!



そう

よかった



あ、ああ今日も
ありがとう
美味しかったよ

ヴィクトル
おはよう

朝ごはんは
食べれた？



あ、話をそらさないで！

何で先に家を出たんだい？

おまじない
いってさ
おまじない

ごめんごめん

目覚めたら
すぐく滑りたく
なっちゃったんだ



……次からは
せめて声を
かけてくれないか



ちょっと

そんな...

でもヴィクトルを
起こしちゃ悪いからさ


じゃ、僕外で
走ってくるね

スクリッ



僕はヴィクトルの事が好きだ
でも今のヴィクトルは
僕を覚えていない

でも彼は今も
僕たちの指輪を
つけている




あの事故で
ヴィクトルはここ
一年間の記憶を
失っていた

そんなんっ！

それじゃあ
ヴィクトルは

ずっとこのまま
かもしれないって
事ですか：！?



医者が言うにはこういうことは突然
記憶が戻ったりすることもあれば
数年後ということもあるそうだ

体は異常はないから
退院はすぐにできる

普段通りの生活をして
いれば何かの切っ掛けで
記憶が戻ることが
あるらしい：

今はひとまず、今まで通りの
生活をするしかない
スケートはまだ当分
セーブさせるがな：



今のヴィクトルは……
僕を知らないんですよ……

今まで通りだなんて……
そんな……

ヴィクトルとの絆
僕は自分の気持ちに
気づくまで彼との
間色々な思いに
「愛」という言葉をつけた

たくさんの愛が複雑に
からみあった、そんな「愛」

でもヴィクトルは僕に
「恋人になってほしい」と
いう意味で愛してるって
言ってくれた、そして僕も……

それはヴィクトルが
記憶を失ってしようと
変わらない
僕はヴィクトルを
愛している

あの日気づいた
自分の本当の
気持ちもかわらない

でも、今のヴィクトルは
そうではないのだ



マッカチン〜！
ただいま！
元気になっていたかい？





それと

改めまして
よろしく

ユウリ・カツキ





ユウリ・カツキ？

知らないなあ：
日本のジュニアの
選手かい？

さっき俺が
目覚めたときも
君がいたよね？

失礼だけど：
どちら様かな？



まさか俺の弟子
だったとはね！
本当にびっくりだよ！

しかも一緒に
住んでるだなんてね！

俺、滅多に家に人を
上げることなんて
無かったのになあ：

…ヴィクトル

貴方は今記憶を
失っていて色々
困惑する事も
多いと思う：

でも

お医者さんの言ってた通り
記憶を失う前の生活を
心がけなきゃいけない：

貴方からしたら
見ず知らずの僕だけど、
僕たちは師弟だった

貴方の事は僕に
できる全てで
サポートします
だから、ヴェクトル

よろしく
お願いします……!!

ワオ：
熱烈だね

そういうの
嫌いじゃないよ



あ、そうだ、
君のことは
なんて呼んでたの？

まさかフルネームで
呼んでたわけじゃ
ないだろう

あ：勇利って
呼ばれてました

ユーリ、だね

—違う、

…はい

音が違うだなんて：
言えない。でも「勇利」
の響きは彼と過ごした
中で呼ばれるように
なった音だから

それじゃあユーリ、



君も同じデザインのをしている・
ヤコフから聞いたらしいつも
この指につけてたって

これ、何かな？



これは、ユーリとの
ペアリングなの？

俺たちって、ただの
師弟なんだよね？

—：これは
牽制：なのだろうか
だってヴィクトルは
もともと僕と同じくヘテロだ

それは：僕がお守りとして、
そしてヴィクトルへのお礼
としてのPPの時にヴィクトルへ
プレゼントしたもので…



：試合じゃない時も
ヴィクトルはずっと
つけていました

：でも貴方が望むなら
外しても構いません
それはヴィクトルに
あげたものだから





ユウリ!今の所
ちゃんと指の先まで
意識して!

—と言ってたのに

：そう
わかった



あの感じだと
ヴィクトルは
嫌なんじゃ
なかったの!?

表紙集だなんて
よやっだよね?もって
集めて!!



僕のコーチングも
しだすし

オジジのは
マミーリング
だったや...

おめりかぶり
いんこお



指輪はつけてるし

んのは
おめりかぶり

名前を呼ぶ音も以前と似てきたし：

記憶は一向に戻らないけど
やっぱりヴィクトルは
ヴィクトル：なんだなあ

でも…

つオタタ
はあっ！！

ユウリ！
今日の晩ごはん
って何!? カツ井!?

そしてすっかり
カツ井が
日本食大好きに
なっちゃったね!?

ワッツ!? トンジル?
初めて聞いたよ!
どんな料理なんだい!?

豚汁です

なんか近すぎない!?
僕とそういう関係は
ごめんだって空気は
かもし出してたよね!?



ヴィクトルは僕と以前のような
距離感になっていった

僕のヴィクトルへの恋心が
今の彼に伝わったら
どうなるだろう
だって今のヴィクトルには
僕たちのあの一年が無いのだ

ヴィクトルと距離が近く
なる度に怖くなり、
このままじゃ
いけないと思った


彼にまた触れることができる
嬉しい気持ちと同時に
複雑な気持ち
僕の中で喧嘩している

このままじゃいずれ
ヴィクトルは僕の気持ちに
気づいてしまうかもしれない
ヴィクトルは元々はヘテロだ
彼に嫌われる覚悟が
僕には無かった


ヴィクトル
話があるんだ




なんだい？



あの、僕、ここを出て
一人で暮らそうと思うんだ



俺のおもりが
いやになった？



それは、また…
突然だね
どうして…？

それは…

そんなことない！
おもりだなんて
そんな事……！！

その……前から
考えてた事なんだ


そんなっ！

勝手に決めてごめん
でも僕はもう
決めたんだ


ヴィクトルの記憶は戻って
ないけど、元々一人で
暮らしていたわけだし
僕がいなくても大丈夫
なんじゃないかな……？

もうヤコフコーチにも
相談してるから
僕来週にでも出ていくよ

揺るぎない目



……わかった




ヴィクトル：


これで：
いいんだ：



でも一つ条件がある




それさえ叶えてくれたら
好きにするとい



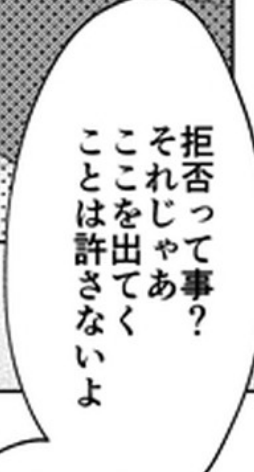
条件……？




ユウリを抱かせて



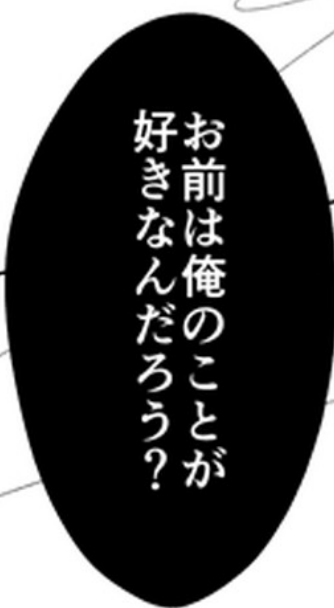
はっ?
何言ってる?



拒否って事?
それじゃあ
ここを出てく
ことは許さないよ



それにねユウリ、
俺知ってるんだ



お前は俺のことが
好きなんだろう?

必死に隠してたつもり
だったみたいだけど
俺は誤魔化されたいよ

お前の目が、

違う・僕はっ

体が、

スケートが

お前の全てが
そう訴えて
くるんだから





もう黙って

俺は怒ってるんだ



ユウリを抱くよ





記憶にはないけど
俺にはこれが
とてもしっくりきてて

そしてそれがユウリの
手にもあることが
何故だか嬉しかった

俺の大切なもの
だったのではないのか？

—これはお守りで……

外しても構いません……

彼はああ言ってたけど

本当に？

俺にしては随分
大切にしていた事が
わかる

だって所々キズも
あるけど、丁寧に
手入れがされている☆

記憶にはないのに
指にとっても馴染む
ユウリとのおそろいの指輪

キラッ

ユウリ・カツキ……もっと知りたい

それからリンクで
ユウリのスケーティングに
魅せられ

時折みせる笑顔や
頑固な二面、男らしさだっ

どんどんユウリに
惹かれていったんだ

だって「ユウリ」って名前の響きですら
なんだか懐かしい気がするんだ
もっとユウリの事が知りたいと思った



ユウリっ…お前はっ

ヴィクトルッ



っもう、やめて…

も、こんなこと…
終わりにしようっ…？

違うっ、嫌だっ
その言葉はっ…!!

こんなふうには泣かせ
たかったわけじゃない

っユウリ…

ああ…

でもお前はっ…

俺たちは…もしかしたら
特別な関係なんじゃないかなって
そう感じてた

ユウリといると
すごく楽しいし
幸せな気持ちに
なったんだよ

でも!

ユウリは俺を通して
別の俺を見る!
悔しい…俺は…俺なのに…
自分に嫉妬する…
こんな気持ち、初めてだよ

ホッ

アハハ

ユウリにふれると
あつたかくなるんだ…

俺は頭の記憶は
ないけれど

体の記憶は覚えてる…
心がユウリを覚えてる!!

ホッ

ホッ

ホッ

ホッ

ねえ、ユウリがいないと
ダメなのに

俺だから？記憶がない
俺だとダメなの？
ずっと記憶が戻らなかったら？

ユウリと一緒にいると
ラブとライフで満たされるんだ
それなのに与えておいて
お前は俺を捨てるっていうの？

ああ…

僕のせいでの人を

ごめんね僕：
また自分のこと
ばかりで：
ぼ

また泣かせてしまった

貴方から離れないって、
逃げないってあの日
決めたはずなのに

ヴィクトルを愛してる

僕ね、ヴィクトル
の事が好きだよ

僕だけが不安な
はずがないのに

どんなヴィクトルでも
ヴィクトルだよ

離れずにそばにいて
ヴィクトル





ね、勇利、

俺は勇利だから
記憶がなくなった
また好きになった

勇利、愛してる
ずっと離れずに
そばにいてくれる？

もちろんっ！

俺の
僕の 全て、唯一、最愛の人、
ずっと離れずそばに――

俺をこんなふう
にさせるの、世界中
どこを探したって
勇利くらいだよ？

ヴィクトル：

結局

収まる所にて
収まったって
感じよ

ケッ

全くせいせい
したぜ

そんな事言って
実は一番心配
してたよに！

んなわけ
ねーだろ
ババア！

心配なんかして
いなかった

記憶が無くても
ジジイのカツ井を
見る目が今までと
同じくウゼーほど
色めきだってたからだ

フン

いつまでもやってろ
ババア

転載/コピー/再配布/オークション・フリマ系アプリでの売買を禁止しています

I wholly forbid the reproduction and manufacturing of my work without permission

you and me vol.2

2018.08.11

mms / tamika

印刷：西村謄写堂

●twitter / @tamikaxxyoi

●Pixiv / 142903

アンケート型感想メールフォームです
ポチポチするだけで送れます



最後までお付き合いいただき

ありがとうございました！

すれ違い両片思いと記憶喪失ものをダブルにかけて

なんかやりきった感があります笑

そして思ったよりまたページが多くなってしまって

思ったよりえっちが描けなかったのが残念ですすいません...

次は11月の予定ですんでまた色々描けたらなと思います！

cui

you
and
me